

スローライフ通信 45

スローライフ通信 第45号
平成25年1月1日発行
編集：スローライフに賛同委員会
社会福祉法人和貴会
本部事務局
大塚町八尾南太田3-203
<http://www.slowlife.or.jp>

妥協せず、地域で与えられた使命を全うしていきます

新年明けましておめでとござ
います。旧年中は多大なご厚情を賜
り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年は六十五歳以上の人口
が3000万人、七十五歳以上が1
500万人を突破した年となり、六
十五歳以上の方が四人に一人とい
う超高齢化社会に突入致しました。
2025年まで少子高齢化が進む

社会環境の中、介護・医療現場の担
い手の職員確保が困難な、厳しい時
代がすぐ目の前にやってきました。

このような差し迫った情勢の中、
限られた職員数で利用者様の尊厳
を一番に重視し、利用者様が日々生
きがいを持っていただけるよう施
設運営に努力して参りました。一方、

二年前より「和きあいクリニック」
を開設し、高齢者の暮らしを地域で
支える総合的な生活支援ネットワ
ークシステム「すなわち、高齢者の
方々が住み慣れた自宅で、いつでも
必要な医療とケアが受けられる在
宅医療・介護連携システムの構築の
実現に向けて職員一同、併せて尽力
して参りました。

これからも各四施設が、利用者様
により大きな安心と満足を提供出
来るよう、職員一人ひとりがより一
層の自己研鑽を積み、地域で自分た
ちに与えられた使命に妥協するこ
となく日々努力を重ねる所存でござ
います。

末筆ながら、この新しい年が皆様

謹賀新年

方におかれまして輝かしい佳き年
でありますよう、心よりご祈念申し
上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十五年 元旦

社会福祉法人 和貴会
理事長 池田 貴彦



和貴会 日々奮闘

- 一、私たちは、地域社会に密着し、今日も寄せられた信頼に応えます。
- 一、私たちは、この仕事に就けたことに感謝をし、今日も利用者様に生きる喜びを感じていただきます。
- 一、私たちは地域 1 を目指し、今日も一番の笑顔と一番の真心ですべての人と接します。
- 一、私たちは、安心と安全を提供する集団になるため、今日も和の心をもって惜しむことなく努力します。
- 一、私たちは今日も、あいづえおを実践します。明るく、いきいき、うきうき、笑顔で、おおらかに。

多種協働で地域の皆様のニーズに応えます

スローライフ生駒 施設長 田中宏和



新年あけましておめでとうござ
います。年が明け、心新たに明る
い年となりますよう一步を踏み出
します。

急速な高齢社会の進展は、これ
までの地方を中心にした形から都
市部にも広がっており、益々当法
人の役割も重要になってまいりま
す。昨年の介護報酬、診療報酬同時
改定が地域包括ケアシステムの構
築へ向けた促進効果として作用す
るかどうかは、我々福祉に携わる

者の努力にも関わってけると言え
ます。

こうした中、地域住民の皆様の
ニーズに対して、多種協働のチー
ムアプローチ・ケアプランの作成
等、利用者・個々人を大切に、尊
厳を守り、安全に配慮しながら生
活機能の維持・向上を目指し、総合
的に援助して参ります。また、ご家
族様や地域の人々・機関と協力し、
安心した生活を続けられるよう支
援致します。

また東日本大震災の影響による
電力不足により、昨夏は利用者様
には大変ご迷惑をおかけいたしま
した。法人の取り組みとして、いち
早い省エネルギー化、LED照明、
断熱サッシ、エアコン、ヒートポン
プとハード面を一新し、今年はソ
フト面に一段と力を結束してまい
ります。

皆様におかれましても、今年が
素晴らしい年となりますよう祈念
し、新年の挨拶とさせていただきます。

皆様と共に前進する老健でありたい

スローライフ八尾 施設長 笠松 稔

新春のお喜びを申し上げます。
施設長に就任し早や八ヶ月が過ぎ
ました。

振り返ってみると、ご高齢の方々
は特に季節の変わり目に体調を崩
されることが多く、丁寧に診察し
ているつもりでも、病院への受診
や入院が必要となる方もおられま
した。今後は体調の変化にいち早
く気づき、適切な処置を行うよう、

更に注意していきます。また肺炎
球菌ワクチンの接種などを推進す
るなど予防にも心掛けたいと考え
ます。

政治の混乱は相変わらずですが、
今また、将来を見据えた判断が必
要なときだと感じています。そう
した認識の下で当施設においては
「和貴会日々宣誓」の精神に則り、
地域、家族や親子といった現実に

目を向けた老健施設の役割を果た
すべく、一層の決意を持って取り
組んでいきます。そのためにも、た
くさんのご家族様にぜひ来所して
いただきたい。そして診察やリハ
ビリにもぜひ同席してください。
共にご利用者様の為に何が出来る
のか考え、力を合わせて取り組ん
で参りましょう。





地域との連携を築き、包括ケアの一翼を担う

スローライフ千里 施設長 行本 功



新春を謹んでお慶び申し上げます。

昨年十一月、北千里地区の子供たちに、車いすに乗って当施設の福祉車両への乗り込みを体験して頂きました。北千里地区の藤白台、青山台、古江台3地区の福祉委員会の皆様と福祉関係の事業所で行く北千里地区福祉連絡会が取り組んだ「キッズ車いす体験」でのこ

とです。

地域の高齢化が急速に進む中、地域包括ケアが提唱されていますが、こつした普段からの地域との連携の上に成り立つものだと思います。

「ご自宅であろうと施設であろうと、高齢者の生活を支援するネットワークが地域に必要とされています。百人百様の支援の在りよう

を考え、取り組むことができる地域の連携を築き上げていかなければなりません。スローライフ千里はそうした取り組みの一翼を担っていきたいと思います。

本年も社会福祉法人和貴会の一員として誇りを持って取り組んでまいります。ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

患者様との信頼関係を築き続ける

和きあいクリニック 院長 藤山 進

輝かしき年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。クリニックと致しましては昨年五月にスローライフ生駒診療所より引継ぎ、少しずつではありますが、前進してまいりました。

在宅支援診療所として在宅医療に重きを置いておりますが、一般診療についても携わりたい気持ちを抑えきれず、わざわざクリニックに足を運んでくださった患者様

に勇気を頂いております。

さてその在宅医療に関してですが、現在二十五名の一般在宅の患者様とスローライフ生駒、スローライフ歓、他法人のサービス付高齢者向け住宅では、二十名の患者様の訪問診療を実施しております。またスローライフ千里では、特養管理医として三十名の方々の健康管理を、スローライフ八尾では皮膚科診療を担っております。

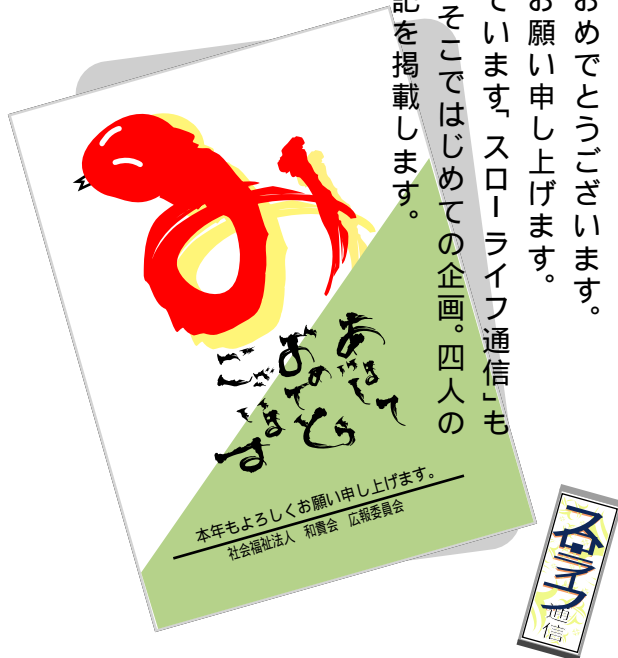
このようにご利用者様、患者様の大事な生命を預る立場であり、

そして我々が患者様・ご家族の信頼関係を築き続けることが今後の大きな実績につながるものと思っております。このためにも地域の訪問看護ステーション、基幹病院等とネットワークを組み、スタッフ一同、皆様の信頼を得ながら、頑張っていく所存ですので、今年も宜しくお願い申し上げます。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。隔月でお届けしています「スローライフ通信」も45号を迎えました。そこではじめての企画。四人の広報委員の編集後記を掲載します。



現在、介護職員に関する国の制度の見直しが進んでおり、今年度はヘルパー2級・3級という資格が廃止になる(無効にはならない)など新制度への移行が本格的になっていきます。

本部事務局として本年は、法人全体で新制度の理解を深めて、無理なく対応できるように整える一年だと考えています。

ご利用者様の生活や地域の社会福祉への貢献を常に意識して、日々努めてまいります。(本部事務局・野澤)

新年あけましておめでとうございます。いつもスローライフ

通信をご拝読頂きありがとうございます。当に就いたのは昨年ですが、もともと文章を書く事や広報の分野には疎く、少し大変な思いをしました。しかし、「スローライフ生駒」の活動を少しでも知って頂き、皆様にご理解と、少しの「へえ」という興味を示して頂けたら嬉しく思います。

今後はさらに良い記事を皆様にお届け出来るよう精進してまいります。(スローライフ生駒・園田)

毎号、広報委員(おっさん四人で構成)が無駄な頭をひねって意見を出し合います。昨年は法人外の方に文章を依頼する等、今までしてこなかった事にも取り組んできました。

「お知らせ」
スローライフ八尾 八尾
改修工事について

昨年11月から実施しております改修工事について、ご迷惑をおかけしております。

空調・二重サッシ・照明(LED)に関する工事は無事に終了しました。

今後は「外壁塗装」「別棟建設」の工事が始まりますが、駐車場での作業も増えることが予想されます。

引き続き安全に注意しながら進めてまいります。今しばらくご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご協力お願いします。

昨年四月に介護報酬の改定がありました。が、介護業界の、賃金をはじめとする労働環境は依然として厳しい状況です。

その一方「現場」においては、高齢の方々のお手伝いをしながら、たくさんの事を教えていただけると、人生にとつて「得」をする職場でもあります。

介護保険のサービスを利用する人とその家族、そこで働く人が共に喜べる。ひいてはその地域に住まう人々が安心して暮らせる。そのための一助になりたい。

そんな思いで、このスローライフ通信を作っています。(スローライフ八尾・味元)

和貴会本部 〒581-0037 大阪府八尾市太田3丁目203番地 電話：072-920-2212 FAX：072-920-2213

スローライフ生駒 特定施設入所者生活介護(ケアハウス)
〒630-0266 奈良県生駒市門前町8番33号 電話：0743-75-1525 FAX：0743-75-1501
デイサービスセンター 〒630-0266 奈良県生駒市門前町8番19号 電話：0743-72-1555

スローライフ八尾 〒581-0844 大阪府八尾市福栄町1丁目12番地 電話：072-990-0100 FAX：072-990-0022
介護老人保健施設・短期入所療養介護(ショートステイ)・通所リハビリテーション(デイケア)・居宅介護支援事業
八尾市地域包括支援センター スローライフ八尾(電話：072-990-1220)

スローライフ千里 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園6番8号 電話：06-6816-1100 FAX：06-6816-1110
介護老人福祉施設入所者生活介護(特別養護老人ホーム)・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)・小規模多機能型居宅介護・認知症対応型通所介護(デイサービス)・夜間対応型訪問介護・短期入所生活介護(ショートステイ)

和きあいクリニック 〒581-0037 大阪府八尾市太田3丁目203番地 電話：072-920-2215 FAX：072-920-2213 内科・整形外科・皮膚科・訪問診療

スローライフ通信・第45号 平成25年1月1日発行
編集：スローライフ広報委員会
社会福祉法人和貴会
http://www.sbwlife.or.jp



45